

みなが変わると日本が変わる～21世紀の活力はみなとから～

港湾空港ニュース香川

—高松港湾・空港整備事務所だより—

2021
秋号

<No.203>

CONTENTS

- 池町所長より「ご挨拶」
- 備讃瀬戸航路水島交差点浚渫工事に着手
- 第2回高松港・坂出港長期構想検討委員会の開催 ●美讃の出前講座



国土交通省 四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所



高松港朝日地区 岸壁(-7.5m) 供用イメージ図

「ご挨拶」

この7月で高松港湾・空港整備事務所へ赴任してほぼ1年が経過しました。

この間、新型コロナウイルス感染症拡大と収束を繰り返し、コロナ禍前の社会経済に戻る先行きが見えない状況が続いています。香川のおいしい地酒や肴を堪能して、香川ならではの楽しいお店を数軒紹介できるようにしたいはずなのですが、なかなかそうもいかない1年でした。ただ、明るい材料として、国内のワクチン接種率が急激に伸びており、9月末までには国民の約6割が2回の接種を終える予定だと報道されています。あとは、インフルエンザの治療薬タミフルのような新型コロナウイルス向けの治療薬さえできてくれれば、新型コロナウイルスとの戦いも終わりが見えてくると感じています。さて、当事務所では、本年度から3つの直轄事業が動き出しています。

上の写真に掲載したのは、本年度から新規事業着手した高松港朝日地区複合一貫輸送ターミナルの完成予想パース図です。フェリーが利用するターミナルですので、船舶の後ろから（船尾部といいますが）車両が降り降りできるように岸壁がL字型になります。L字型の岸壁は、船尾部と標準部とから構成され、まずは船尾部の完成を目指して事業を進めています。この10月からは、船尾部岸壁の基礎となる杭打ちを行い、いよいよ本格的な海上土木事業がはじまります。船尾部が完成しますと、当面の間は、現在利用している岸壁の一部として利用されます。

来年の夏頃には、ジャンボフェリーの1隻目の大型フェリーが新たに就航するため、大型フェリー

でも安全に係留できるように、船首部（船舶の頭の部分）として利用していただくことになっていきます。利用者の早期完成要望に応えるべく、安全かつ着実に事業を進めていきます。

あわせて、当事務所は、高松港朝日地区複合一貫輸送ターミナルの具体的なレイアウトを検討するため、離散型イベントシミュレーションモデルを活用しています。高松港でフェリーに乗船下船するトラックの動きを3次元の動画で再現できるモデルを作成し、トラック待機場の配置や車両乗降設備（ランプウェイ）の規模・配置の検討を行ってきています。このようなシミュレーションを用いたフェリーターミナルの検討は世界的にも数例（ドーバー港（英国）など）しか報告されてなく、国内では初の取り組みになります。

この検討の中間報告は、本年度の土木学会誌論文集B3（海洋開発）特集号に掲載されています。具体的な検討内容を発表していきますので、ご関心のある方は是非ご覧ください。

この他にも、高松港朝日地区国際物流ターミナル整備事業、備讃瀬戸航路保全浚渫事業、高松空港の事業を精力的に進めています。いずれも国際物流機能の確保や国土の強靱化につながる重要なプロジェクトです。多くの関係者のご協力をいただきながら、安全かつ着実に事業を進めていきます。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

高松港湾・空港整備事務所長

池町 円



第2回 高松港・坂出港長期構想 検討委員会の開催

令和3年8月5日(木)、高松港・坂出港長期構想検討委員会(第2回)【事務局：香川県・坂出市】がわが国国際会議場において開催されました。

第1回長期構想検討委員会では、両港の特徴、将来に向けた課題が示され、出席の委員の皆様から活発なご意見が出されました。

今回は、第1回委員会での主要意見への対応及び両港が目指すべき方向性と実現に向けた取り組みについて示され、委員の皆様から活発なご意見が出されました。

今後は、今回の主要意見を踏まえた長期構想の策定に向けて香川県・坂出市と歩調を合わせた検討を進めてまいります。



備讃瀬戸航路水島交差部浚渫工事に着手



備讃瀬戸航路は、瀬戸内海における海上交通の要衝であり、国際海上輸送及び国内海上輸送を担う船舶の航行安全性・効率性を支える重要な航路です。

昭和38年度から直轄事業として整備を進めてきた備讃瀬戸航路は、複雑な地形・潮流を起因としたサンドウエーブによる埋没現象が確認されています。

このため、平成21年備讃瀬戸航路全域を開発保全航路に指定し、必要水深の確保を目的とした維持浚渫を実施しているところです。

今般、備讃瀬戸航路利用者等から浅場箇所解消について要望のありました水島航路交差部について、工事着手環境が整ったことから、浚渫工事を実施することとなりました。

作業区域となっている航路内では、多くの船舶が航行しているため、安全を第一とし、工事を進めてまいります。



海面清掃兼油回収船「美讃」の出前講座

当事務所では、令和3年7月15日に香川県立東部養護学校の生徒20名をお迎えし、海面清掃兼油回収船「美讃」の出前講座を開きました。

今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス禍の大変厳しい状況でしたが、消毒やソーシャルディスタンスなどの感染防止対策を徹底して講じるなど、受入れ環境を整えた上での開催となりました。

当日見学された児童の皆様は、「美讃」でのゴミ回収のしくみなどの説明に耳を傾け、熱心にメモを取る姿が見られました。

最近、環境問題として、船舶座礁における油流出、世界的な海洋に浮遊するマイクロプラスチックが注目されており、海のごみに対する関心が高まっています。

「美讃」は環境と船舶航行の安全のため、坂出港を基地港に日々海上のゴミ回収を行っています。ゴミ回収量の公開も行っていますので、興味のある方は是非当事務所のホームページも覗いてみてください。



●高松港湾・空港整備事務所
〒760-0064
高松市朝日新町1-30
高松港湾合同庁舎3階(南側)
TEL087-851-5522
FAX087-826-1210



●坂出港分室
〒762-0002
坂出市入船町1-5-26
TEL0877-46-0311
FAX0877-45-4689



国土交通省・四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所

【ホームページアドレス】

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/takamatsu/>

お気軽にアクセスしてください♪
皆さんからのお便りもお待ちしています。

『海とみなとの相談窓口』全国共通フリーダイヤル

おーいによくなれみなと
0120-497-370

受付時間*：9:30～12:00と13:00～17:00
(土・日・祝祭日・年末年始を除く) *一部の地域を除きます。